



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

http://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.580 2020.11.4

日本共産党北区議員団

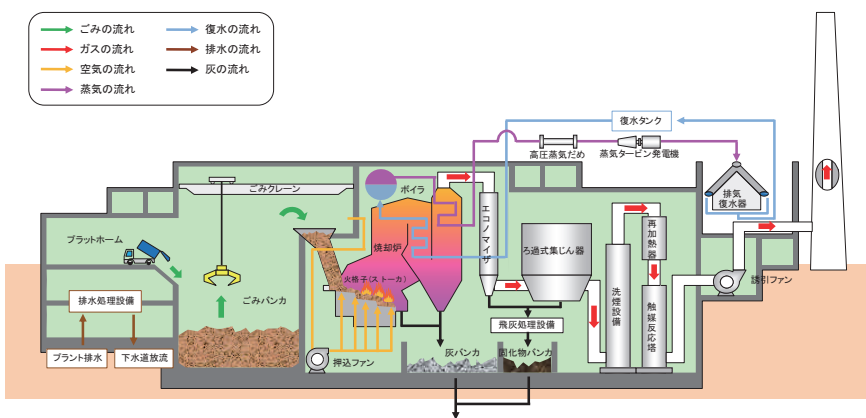
〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は 090-2156-3510
お気軽に

北清掃工場
建替事業

被害の恐れ拭えず

北区環境審議会 清掃一組が環境影響評価書案を説明



北清掃工場の内部（清掃一組の環境影響評価書案より）

2日に開かれた北区環境審議会で、東京二十三区清掃一部事務組合（清掃一組）がまとめた北清掃工場建替事業環境影響評価書案に対する北区長の意見案について審議が行われました。

審議に先立ち、清掃一組が評価書案の内容を説明し、審議委員から質疑が行われました（質疑概要は裏面）。
 巨大で堅牢な施設で足掛け7年にわたる工事。しかも、周辺には住宅、学校、保育園などが密集する地域だけに、周辺への被害をどれだけ低減させられるかが議論の焦点となりました。

評価書案では影響はほぼ基準値以下とされているものの、清掃一組からは、影響低減の具体的な方策は明らかにされず、被害の恐れを拭えませんでした。（のの山けん）

議員団ニュース秋号

区議会第3回定例会の内容を紹介

10月9日に閉会した北区議会第3回定例会の内容を伝える北区議員団ニュース秋号は、現在配布中です。今定例会では、PCR検査の拡充、コミュニティバス新規路線の具体化、選択的夫婦別姓の意見書採択など、大きな成果がありました。ぜひご覧下さい。（のの山けん）

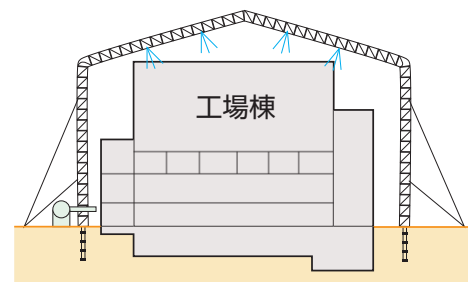


影響を極力抑える工法で 北清掃工場の解体工事をめぐる環境審議会での質疑

2日の環境審議会では、宇都宮章委員（区民生活委員会副委員長）は、清掃工場の解体工事において周辺住民への被害を抑えるための具体的方策について質疑しました。（のの山けん）

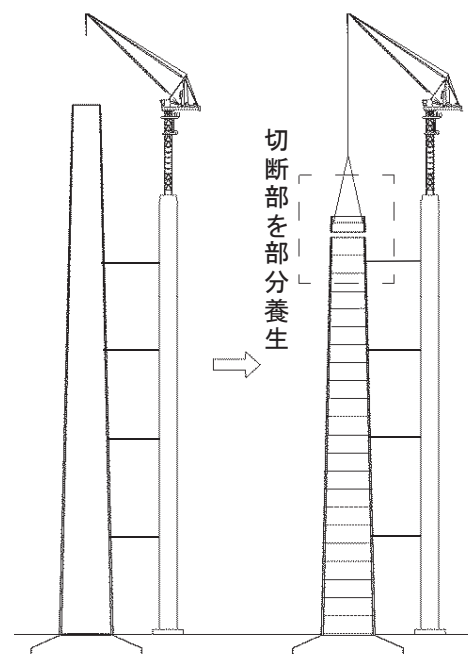
影響低減の最適な方法は 全覆い仮設テントの設置

騒音・振動・粉じんなどの被害をシャットアウトするのが全覆い仮設テント（図1）。先行する杉並・光が丘・目黒・江戸川工場の建替えでは全て設置されています。ところが北区では、敷地が変形していることなどを理由に「テント設置は難しい」（清掃一組）などとしています。審議会では、他の委員からも「区民の強い要望。設置を切に願う」との要望が出されました。



【図1】全覆い仮設テントのイメージ

（外筒解体）
湿潤化させながら
ワイヤーソー等を用いて切断



【図2】ワイヤーソーによる工法イメージ
（環境影響評価書案より）

ワイヤーソー工法で 既存建築物全体の解体は？

評価書案では、煙突部分と既存建築物の一部をワイヤーソーで解体するとしています（図2）。これは切断対象物にダイヤモンドワイヤーを巻きつけ、高速走行させて切断する工法で、大きな影響抑制効果があります。宇都宮委員は「既存建築物全体をワイヤーソーで解体してはどうか」と問いましたが、清掃一組は、「使用できない部分もあり全ては難しい」と答えました。

周辺住民への影響 抑える手段明記を

区長意見に審議委員からも要望

宇都宮委員は評価書案への区長意見について「全覆い仮設テントの設置を求めるべき」と提案。具体的工法の明記には至りませんでした。他の委員からも「低騒音・低振動型の重機を使うというだけでは弱いのでは。影響を抑える手段の明記を」との意見が出されました。